

## 歌曲の夕べ ～歌曲でたどるショパンの生涯～

6月3日(木) 開場 18:30 開演 19:00 入場料 ¥3,000

解説：小坂 裕子 / Yuko Kosaka

出演：松本和子 (ソプラノ)、吉原教夫 (テノール)、羽賀美歩 (ピアノ)

ピアノの詩人と呼ばれるショパンが歌曲を書いていたことは、あまり知られていません。ポーランド時代の 19 歳からパリで死を迎える 2 年前 37 歳まで人生の折々に書き続け、そのうち 17 曲が没後まとめられて作品 74 として出版されています。詩はポーランドの大詩人ミツキエヴィチなど、ショパンと同じく祖国ポーランドを愛し、ロシア制圧に反対してフランスに亡命を余儀なくされた人たちのものです。例えば 21 歳シュトゥットガルト、ピアノ曲は祖国の出来事に絶望して「革命」のエチュードですが、歌曲は「悲しみの川」「戦士」です。詩に共感し自分の思いを音響で表現して、まさに心に迫ってきます。「ショパン知られざる歌曲」を著作の 1 つとする小坂が解説し、歌い手の方たちがポーランド語で、あるいは今回のために試みた日本語訳詩で歌います。全曲を聞けることは本当に稀な「ポーランドの 17 の歌」、印象深い「ショパン生誕 200 年」の一夜となると思います。

■プログラム / 17 のポーランドの歌 作品 74 より 作品番号・タイトル (作曲年・演奏時間・演奏者)

1. 願い (1829 年・2 分・松本)、3. 悲しみの川 (1831 年・3 分半・松本)、5. 彼女が好きなこと (1829 年・1 分半・松本)、6. 消えろ! (1830 年・3 分半・吉原)、7. 使者 (1830 年・3 分・松本)、8. 美しき若者 (1841 年・2 分半・松本)、9. メロディ (1847 年・2 分半・吉原)、10. 戦士 (1830 年・2 分半・吉原)、11. 二人の死 (1845 年・2 分・吉原)、12. 愛しい人 (1837 年・2 分・松本)、13. 孤独 (1845 年・4 分弱・松本)、14. 指輪 (1836 年・1 分半・吉原)、15. 花婿 (1831 年・2 分・吉原)



### ■プロフィール / こさか ゆうこ

東京藝術大学大学院音楽研究科音楽学専攻修士課程修了。

著書に「自立する女 ジョルジュ・サンド」(NHK 出版)「ショパン 知られざる歌曲」(集英社)「作

曲家 人と作品 シリーズ ショパン」(音楽之友社)。刊行予定「ショパンの生涯と全作品解説」(アルテスパブリッシング)。訳書に「ノアのショパンとサンド」(音楽之友社)「シューマンのピアノ音楽」(ムジカノーヴァ) ジョルジュ・サンド「マヨルカの冬」(藤原書店) アンドレ・ブクレシュリエフ「ショパンを解く!」「ショパンの響き」(音楽之友社) などがある。



### ■ソプラノ / まつもと かずこ

千葉県出身。桐朋学園大学を経て東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ヤマハ音楽振興財団の奨学金を得て 2005 年よりフランスに留学。パリ国立高等音楽院第三課程修了。日仏笹川財団の奨学生としてパリ・エコールノルマル音楽院高等演奏家過程修了。文化庁在外研修員を経て 2008 年 12 月に帰国。第 12 回日本モーツァルト音楽コンクール第 3 位。第 13 回日仏声楽コンクール第 3 位。第 75 回日本音楽コンクール第 2 位。これまでにベートーベン「第九」「莊厳ミサ」、フォーレ「レクイエム」、モーツァルト「ハ短調ミサ」などのソリストを務めた他、2009 年 11 月に桐朋学園オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役にてオペラデビュー。日本とフランス各地で積極的にリサイタルを開催している。



### ■テノール / よしはらのりお

東京藝術大学卒業。同大学院在籍中。松田トシ賞、アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。同声会新人演奏会、第 76 回読売新人演奏会に出演。高関健氏指揮、第 55 回「藝大メサイア」(朝日新聞社主催)でテノールソリストとして出演した他、宗教曲では《聖パウロ》(メンデルスゾーン)、《天地創造》(ハイドゥン)、《第九》、《メサイア》(モーツァルト編曲版)などのソリストも務めた。オペラでは、鈴木雅明氏指揮、《アリオダンテ》(ヘンデル)のルルカーニオや、《椿姫》(ヴェルディ)のアルフレードなどを演じた。奏楽堂うたシリーズや奏楽堂モーニングコンサート等に出演。藝大フィルハーモニア、オーケストラアンサンブル金沢などと共演。



### ■ピアノ / はが みほ

東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業。同大学院音楽研究科修士課程 3 年在学中。

2 歳よりヤマハにて音楽教育を受け始め、4 歳でピアノ、6 歳で作曲を始める。台湾公演、フランス公演など国内外多数コンサートで自作曲を演奏。ピアノを浅井潤子、堀江孝子、播本三恵子、佐藤俊の各氏に、作曲を寺西誠氏に師事。室内楽を山崎伸子氏に師事。

大学 2 年の時に古楽器フォルテピアノと出会い、フォルテピアノを小倉貴久子氏に師事。

第 1 回、第 6 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 銅賞。2003 年には、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、ショパンのパレードを演奏。

現在は様々な楽器、声楽の伴奏ピアニストや室内楽奏者、フォルテピアノ奏者として演奏活動をしている。